



| | |
|-------------------|----|
| 日本語ワンペア学習はじめます！ | P1 |
| JICA 青年海外協力隊が見た世界 | P2 |
| 木曜通訳ボランティア紹介 | P3 |
| イベント情報 | P4 |



日本語ワンペア学習はじめます！

廿日市市国際交流協会では、地域に住む外国人のために、日本語の学習を支援する日本語教室を、廿日市内5カ所で運営しております。このたび、より柔軟な日本語学習支援の形として、1対1の学習システム「日本語ワンペア学習」を実施することになりました。

あなたも日本語支援ボランティアとして地域の外国人の方々の日本語支援に携わってみませんか？

～「日本語ワンペア学習」日本語支援ボランティア登録から支援の流れ～



①廿日市市国際交流協会のホームページのボランティア募集ページから、日本語学習支援ボランティアの登録をする。（※廿日市市国際交流協会の会員であることが条件です）

・登録票をダウンロードし、メールまたは窓口で提出。または登録フォームをご記入の上、送信してください。（直接窓口でのお手続きも可能です）

登録フォームはこちら↓

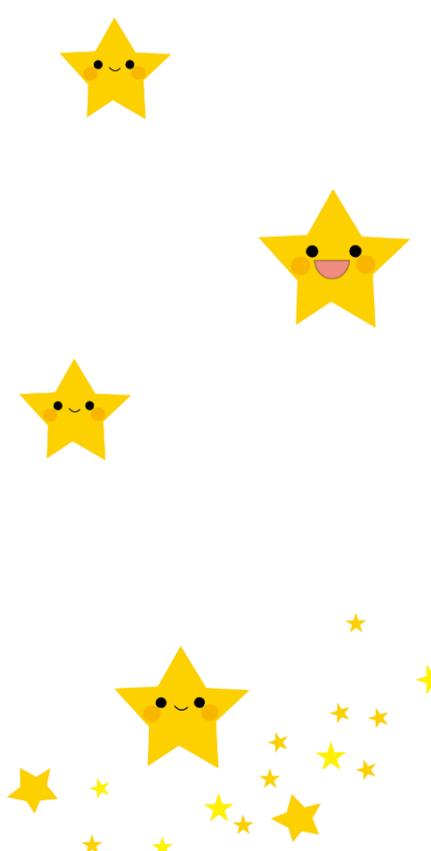


②日本語学習者とボランティアの双方の条件を検討の上、合致した場合、順次ご連絡致します。（時間がかかる場合があります）

③日本語学習者との顔合わせをします。（廿日市市国際交流協会にて）

④日本語学習者と相談しながら、ワンペア学習を始めます。
（ペアで決めた場所、またはオンラインで学習スタート！！）

※「日本語ワンペア学習」の学習支援の進め方について詳しく知りたい方は、廿日市市国際交流協会ホームページの日本語学習支援ボランティア募集ページ内、「日本語学習支援 日本語ワンペア学習について（ボランティア用）」からご覧いただけます。





～マーシャル諸島編～後編

青年海外協力隊って聞いたことはあるけれど、実際にはどんな国でどんな活動をするの？

このコーナーでは廿日市市出身または廿日市市にゆかりのある青年海外協力隊OBOGの方々に、派遣先でどんなものを見てどんなことをしたのか、実体験に基づく貴重なお話をお聞きします。

第2回目は廿日市市にお住まいで、2011年9月～2013年12月マーシャル諸島に赴任された亀井且博さん。

前編では、亀井さんが青年海外協力隊になったきっかけや、赴任先であるマーシャル諸島において、廃棄物処理や管理についての活動をしたことをお伺いしました。

後編では、現地での生活を通して感じた事や、心の変化についてお伺いしました。

亀井 且博さんインタビュー☆後編☆

Q: 現地での生活の中でカルチャーショック(文化の違い)を受けた出来事があれば教えてください。

亀井さん: 「今日できることは明日でもできる。」的な考えでのんびりとしています。そのため仕事の能率がなかなか上がりません。停電があってもいつか修理されるだろうと言って慌てない。子供は親戚も含めた一族で育てる。遠くの親戚が訪問していつまでも居候生活をする。借りたものは貰ったもの的に、貸した物はいつまでたっても返ってこない。お金も同様に貸したら返ってきません。

現地の子どもたちとの1枚



Q: 逆に日本と似ているなと思ったことはありますか？

亀井さん: 古い日本的な考えが残っていて、困っている人がいれば

一所懸命に助けようとします。

食生活は米食が主食で日本と同様です。魚やサシミもよく食べています。

Q: 派遣中の面白エピソードや、印象に残っている出来事があれば教えてください。

亀井さん: いろいろと面白かったことや印象に残っていることはあります。「奥さんはいるか？」と聞かれることが多かったです。理由は「独身ならばお嫁さんを世話する。」と言ってきます。「マーシャルにいないのなら今は独身だ！」とも言ってきます。私のような高齢者に対しても例外ではありません。日本人は優秀だという考え方があつらしく、男女を問わず日本人と結婚したがっている雰囲気を感じました。日本人に優しく、タクシー乗車で中国人は乗車拒否されるが日本人なら絶対に拒否されません。夜に何処かのレストランで誰かと夕食を摂ると、翌朝には島中のほぼ全員に知られることになるので行動には注意が必要。

Q: 派遣中、日本に帰りたい！と思った瞬間や、辛かったことはありますか？

亀井さん: 日本に帰りたいと思ったことはないが、活動作業中に右手を負傷して十数針の縫合をした時や、胃けいれんで緊急入院した時などは心細かったです。

Q: 現地で感動した出来事があれば教えてください。

亀井さん: 赴任直後の現地研修でホームステイした家族から、

滞在中は常に家族の一員として扱われて気を使ってもらい、

世話になり、帰国時には送別の家族食事で別れを惜しまれたこと。



現地の方々とピクニックに行った時の様子

Q: 現地で学んだ人生の教訓は？

亀井さん: 「言葉ではなく誠意をもって接すればこちらの想いは相手に届く。」

Q: 最後に、マーシャル諸島に行く前と行った後、青年海外協力隊という任務を通して、自分の中で変化があれば教えてください。

亀井さん: 海外で生活して、現地で技術指導を行うという事の意義と困難さを再認識しました。国際的な視野の広がり。

日本的な、どちらでもよいような非常に細かい事柄へのこだわりに対する包容力が身に着きました。海外から日本に来ている外国人に対し、自分が海外に滞在中に世話になった恩返しのためで世話をしたい気持ちが強くなりました。

亀井さんありがとうございました！！

亀井さん提供の現地写真: 左から

・家庭用ごみ箱を配布している様子

・ゴミ収集車寄贈セレモニーの様子

・美しい水平線の夕日



木曜通訳ボランティア

廿日市市国際交流協会では、さまざまな分野で活躍しているボランティア部会があります。今回は通訳・翻訳の活動を中心としたボランティア部会、「木曜通訳ボランティア」を紹介します。

英語力アップと広島や廿日市を正確に伝えることを目標に、月 2 回(1・3木曜)の例会では各メンバーが順番に進行役を担当し、各自が工夫を凝らした題材を用意し楽しみながら活動しています。昨年度は、BLM やマララさん等の時事問題、神楽や「神道と仏教」等の文化をテーマに、反訳トレーニングやシャドーイング等の基礎練習を行いました。

また、外部講師として市内校勤務の ALT や海外駐在経験豊富なビジネスマンを招いてのディスカッションでは大いに盛り上がりました。また、宮島での現地ボランティア通訳なども行ってきました。

一番大きなイベントは、毎年8月6日前後に全国各大学の外国人留学生を招待して行う平和ツアーで、平和公園内碑めぐりと平和学習交流会での通訳を担当しています。各慰霊碑をうまく説明するための工夫や、色々な文化的背景がある参加者の意見を尊重する進行等のため、皆で協力して準備を行いますが、毎回自分の英語力不足を実感するとともに新たな発見があり、それらが新たな活動のエネルギー源になっています。

昨年度は、感染症対策のため10月に県内留学生を対象とした One Day Peace Tour を行いました。今年は秋に廿日市市内開催予定で、新企画をじっくり準備中です。(木曜通訳ボランティア 2021 年度代表 楠本)



「工大留学生支援」文化交流ボランティアの企業見学で、日本語の案内を英語で通訳サポート



「みやじまパワートライアスロン」袋詰めと外国人選手の通訳を担当



「One Day Peace Tour in 広島 2020」では、平和公園内の碑巡りガイド、平和学習講座の通訳など大活躍!

木曜通訳ボランティア

新メンバーを募集しています。初心者大歓迎!

一緒に通訳ボランティアをしてみませんか?

日時: 第1・第3木曜日 午前9時30分~11時30分

場所: 廿日市市市民活動センター

お問合せは廿日市市国際交流協会まで!



イベント情報 2021年7月



| 日付 | 内 容 | 時 間 | 場 所 | 対象・定員 | | 参加費 | 主催 |
|--------------------------------|---|--------------------|----------------------|-------|----------------|---------------------------|---------------------------|
| | | | | 子供 | 大人 | | |
| 1日 15日 (木) | 「木曜通訳ガイドボランティア」活動日 ボランティアグループ「木曜通訳ガイドボランティア」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。 | 9:30 ～ 11:30 | 廿日市市 市民活動 センター | | ○ シニア OK | お問 い合 わせ 下 さい | 木曜通訳 ガイド ボラン ティア |
| 6日 13日 20日 27日 (火) | 「Enjoy English」活動日 自主学習グループ「Enjoy English」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。 | 9:45 ～ 12:00 | 廿日市市 市民活動 センター | | ○ シニア OK | お問 い合 わせ 下 さい | Enjoy English |

※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、ご案内しておりますイベントの中止や、活動グループが活動を自粛している場合があります。予めご了承下さいませ。

～やさしい日本語で話してみよう～

日本語教室「言の葉」代表 福田 規子

第6回 発音の特徴を知っておこう

会話での「やさしい日本語」は日本人からの発信だけで成り立つものではありません。

外国人の話す「日本語」の発音の特徴を知っておくと、聞き取りと意味の理解が容易になります。日本人にとって、英語の R と L の発音や聞き取りが難しいように、母語によって苦手とする発音があります。例えば、ベトナムの人は「つ」が「ちゅ」、「そ」が「しょ」になる傾向があり、「通信」「倉庫」が「中心」「証拠」のように聞こえて、会話が食い違うこともあります。「ちゅくります(つくります)」など、幼児語のように聞こえるかもしれませんが、おらかな気持ちで受け取りましょう。相手の発音の特徴を知っていれば、日本人が頭の中で音を変換して意味を理解することができます。

また、母語に関わらず難しいのが、日本語の「ん」「っ」「ー」です。それぞれ撥音、促音、長音という名前がついています。「にほのアーニメはゆめです」「しゅうみはサカです」

会話の場面と状況から「日本のアニメは有名です」「趣味はサッカーです」のように推測しながら聞いてみましょう。「あそこに行って(行って)ください」「あそこにて(居て)ください」など、日本人がゆっくり発音しても外国人には聞き取りが難しい場合もあります。場所を手で示す、「居て」を「待って」に言い換えるなど工夫しましょう。

さて、6回にわたって「やさしい日本語」を話すコツをお伝えしてきました。キーワードは「ゆっくり」「はっきり」「短く」「簡単」そして「思いやり」です。ぜひ、実践してみてください。

編集・発行 廿日市市国際交流協会 Hatsukaichi International Association

〒738-0014 廿日市市住吉二丁目2番16号 廿日市市市民活動センター内

TEL (0829)20-0116(火曜～金曜 9時～17時) FAX (0829)30-3113

ホームページ: <http://hia.hatnet.jp/>

e-mail: hia21@mx4.tiki.ne.jp Face book: <https://www.facebook.com/>



HATSUKAICHIINTERNATIONAL

